

道路行政における デジタル技術の活用

川崎市建設緑政局企画課



渋滞の解消

交通事故の削減

業務の効率化

対象地

建設緑政局企画課



川崎市全域の
市管理道路

川崎市管理道路の概要

建設緑政局企画課

国道 約 17.8km

県道 約 87.6km

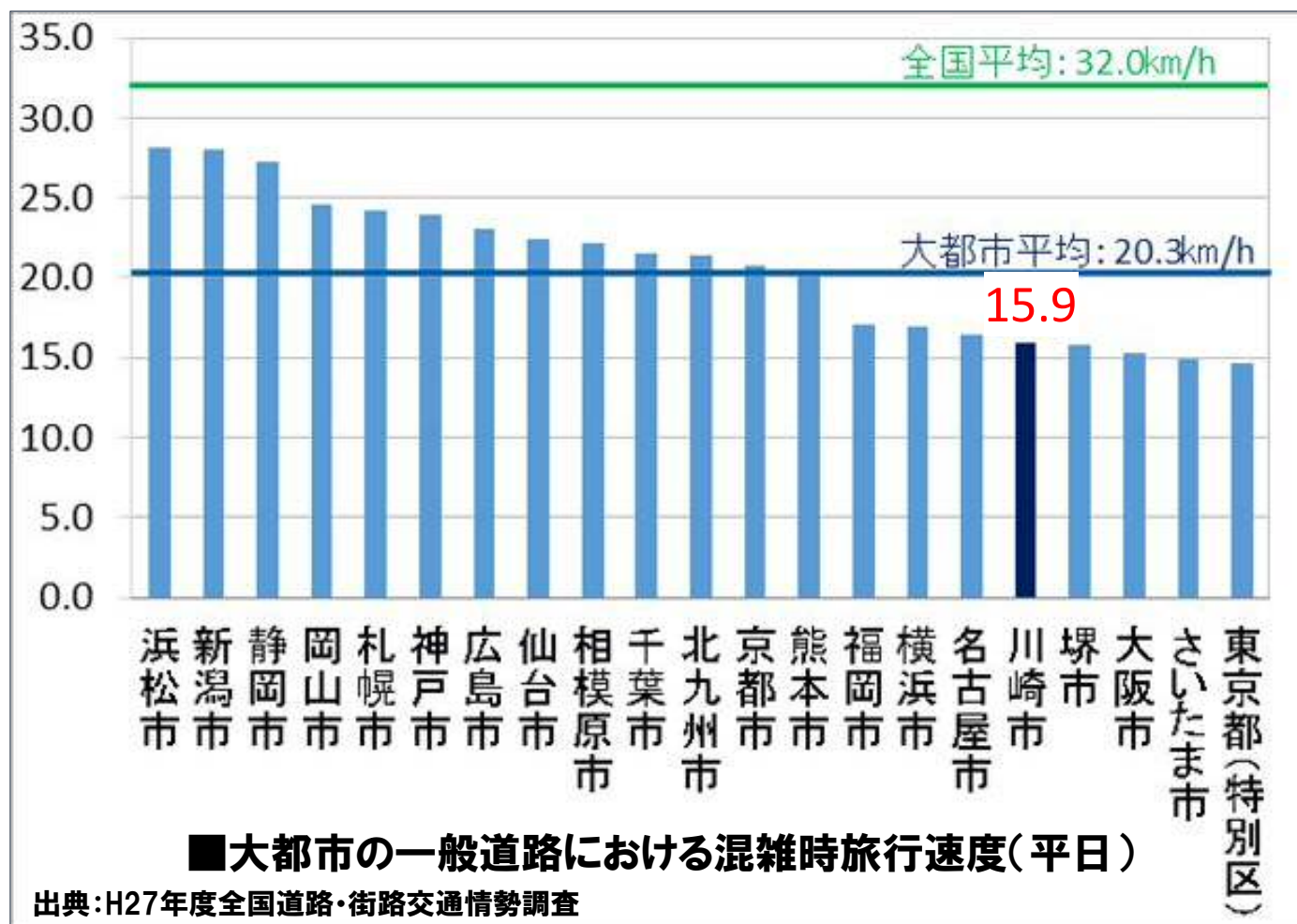
市道 約 2,408.1km

合計 約 2,513.5km

抱えている課題①

建設緑政局企画課

交通渋滞・事故



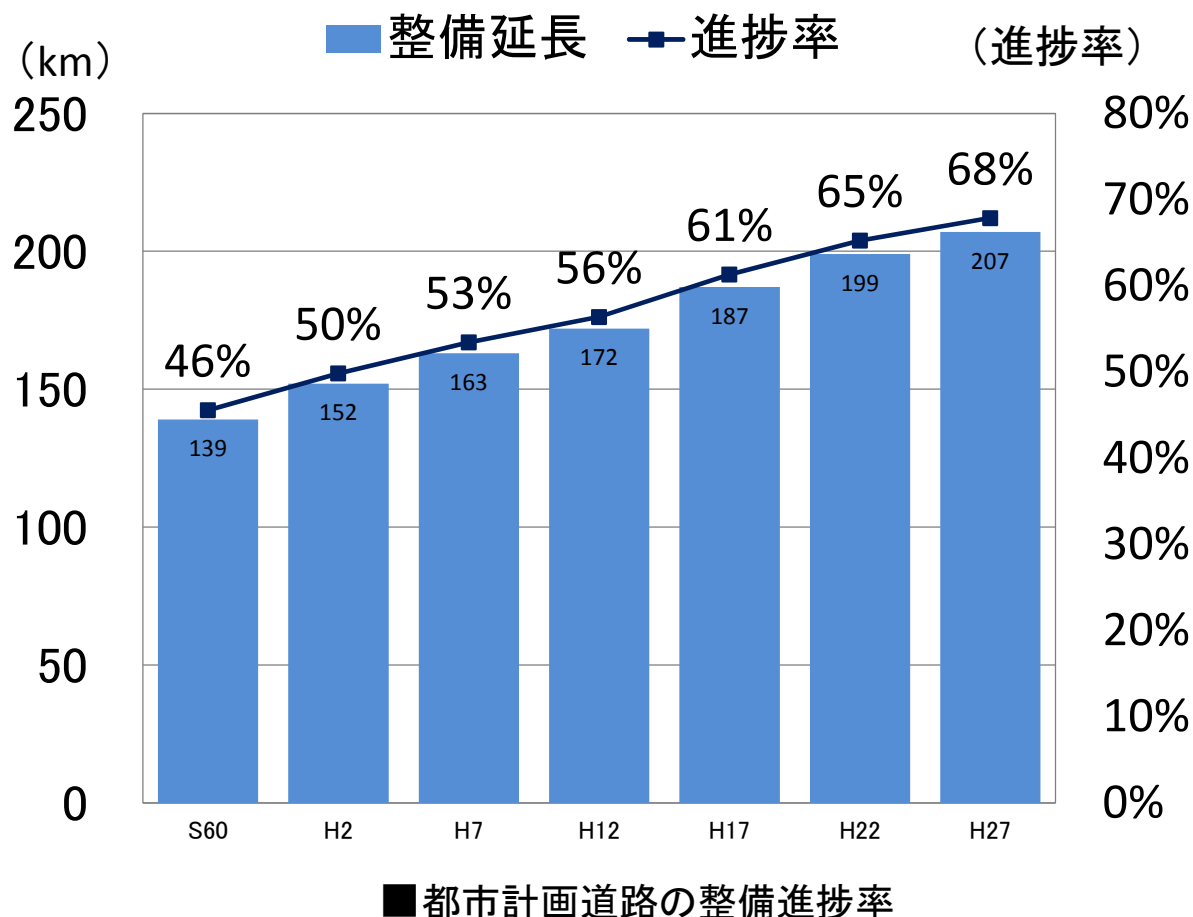
21大都市中
ワースト5位

⇒従来の取組に加え、新たな改善手法も検討が必要

抱えている課題②

建設緑政局企画課

道路整備の進捗



**5年間で
3~5%
概ね10km**

⇒ 優先度の精査
⇒ 道路整備への理解を広げることが必要

抱えている課題③

建設緑政局企画課

調査手法（平休日各1日12h）

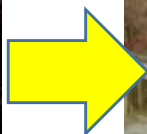


道路交通センサス
5年に1回
市内128箇所

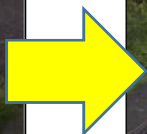
⇒より低コストで高精度に
調査できる手法が必要

これまでの市の取組

建設緑政局企画課



計画的な 道路整備



局所的な 渋滞対策



【令和元年11月26日協定締結】

データ活用

⇒新たな取組

デジタル技術の活用の考え方

**原因や効果を可視化
より根拠の高い施策を推進**

市民の道路行政への理解が深まる

対策が進む

暮らしやすいまちへ

つかわれるものを共に創る

市民への価値を最大化

社会課題を解決

誰も気付いていない解決手法を
官民が連携して創る

活用に当たっての条件など

建設緑政局企画課

◇市の基本的な考え方

安全で快適な道路環境を提供

ビッグデータ、AI等の活用を推進

実証実験で効果・課題を把握しながら
一緒に手法を磨く（企画～運用まで伴走）

◇市の財政負担の条件

実証実験：機器設置等に伴う占用料は協議
市の財政負担を伴う場合は公募

今後、ご意見・ご提案をお聴きしたい事項①

建設緑政局企画課

渋滞の解消・交通事故の削減



- ・交通ビッグデータを活用した道路の整備
- ・スマホナビへの通知等



道路交通状況（車・人）



カメラ

ナビアプリ等

交通量、速度計測（車両、歩行者）
※センサス、道路計画等で活用
急ブレーキ箇所

リアルタイムな交通予測・誘導

⇒道路網を賢く活用して渋滞を予防

事故危険箇所をリアルタイムに通知

⇒運転者に注意喚起

AI

一般道の渋滞予測・事故危険箇所を抽出

実証実験の可能性、スキーム、条件、役割

道路行政におけるデジタル技術の活用

今後、ご意見・ご提案をお聴きしたい事項

建設緑政局企画課

◇交通ビッグデータから市内の交通状況を分析、可視化する仕組み

◇交通ビッグデータとAIカメラを活用した交通量調査の省力化

◇ICTを活用した道路等の損傷受付（内部事務改善）

⇒実験に要する費用を企業様の負担とすることを条件に本市は、道路等を実証フィールドとして企業様へ提供

⇒実験中は、ユーザーの立場から市民や職員のご意見を企業様へお伝えすることにより、技術開発を促進

⇒上記をテーマとした実証実験の参画可能性やアイデアなどについて意見交換をお願いいたします

建設緑政局総務部企画課 担当 藤島、江頭
E-mail : 53kikaku@city.kawasaki.jp
TEL:044-200-2781